埼玉県警察捜査書類書式例の制定について

平成12年12月28日

埼例規第92号・刑総

警察本部長

埼玉県警察捜査書類書式例の制定について(例規通達)

みだしのことについては、さいたま地方検察庁と協議のうえ、埼玉県警察捜査書類書式例を次のとおり定め、平成13年1月1日から実施することとしたから、運用上誤りのないようにされたい。

記

書式例

19 様式第19号

1 様式第1号 電話用紙 2 様式第2号 電話・口頭願届録取書 3 様式第3号 被害上申書 4 様式第4号 被害品確認書 5 様式第5号 質受・買取上申書 6 様式第6号 在籍等照会結果報告書 7 様式第7号 犯罪経歴照会結果報告書 様式第8号 遺留品発見報告書 8 遺留品発見届 9 様式第9号 写真撮影報告書 10 様式第10号 11 様式第11号 現場見取図作成報告書 12 様式第12号 請書 13 様式第13号 出火届 14 様式第14号 類焼届 15 様式第15号 所持金品確認報告書 16 様式第16号 捜査嘱託に対する回答について 17 様式第17号 令状請求連絡票 18 様式第18号 非行・補導歴調査結果報告書

毒物及び劇物取締法違反報告書

20	樣式第20号	トルエン予備試験結果報告書
20		

- 21 樣式第21号 証拠物件鑑定承諾書
- 22 樣式第22号 覚醒剤予試験実施結果報告書
- 23 様式第23号 大麻予試験実施結果報告書
- 24 様式第24号 コカイン予試験実施結果報告書
- 25 様式第25号 採尿報告書
- 26 様式第26号 尿中覚醒剤予試験実施結果報告書
- 27 様式第27号 実況見分調書(ステレオカメラ用)
- 28 様式第28号 交通事故事件(事故不申告)捜査報告書
- 29 様式第29号 飲酒検知器による酒気帯び程度の検査結果報告書
- 30 樣式第30号 交通前歷照会結果報告書
- 31 様式第31号 (字)自動車運転免許証
- 32 様式第32号 仮還付証拠品提出書
- 33 様式第33号 訂正・追加被害届
- 34 様式第34号 口腔内細胞に係る任意提出・DNA型鑑定承諾・所有権放

棄書

実施日

この例規通達は、平成13年1月1日から実施する。

実施日(平成13年4月27日埼例規第61号・務)

この例規通達は、平成13年5月1日から実施する。

実施日(平成13年6月4日埼例規第74号・刑総)

この例規通達は、平成13年6月15日から実施する。

実施日(平成14年2月15日埼例規第7号・刑総)

この例規通達は、平成14年2月18日から実施する。

実施日(平成15年9月30日交指第882号)

この通達は、平成15年10月1日から実施する。

実施日(平成16年5月25日刑総第409号)

この通達は、平成16年6月1日から実施する。

実施日(平成20年3月31日務第922号)

- この通達は、平成20年4月1日から実施する。 実施日(平成22年1月27日薬銃対第170号)
- この通達は、平成22年2月1日から実施する。 実施日(平成22年3月30日務第770号)
- この通達は、平成22年4月1日から実施する。 実施日(平成30年3月26日刑総第628号)
- この通達は、平成30年4月1日から実施する。 実施日(平成31年3月19日刑総第852号)
- この通達は、平成31年4月1日から実施する。 実施日(平成31年4月19日文第173号)
- この通達は、平成31年5月1日から実施する。 実施日(平成31年4月23日薬銃対第268号)
- この通達は、平成31年5月7日から実施する。 実施日(令和2年3月27日薬銃対第227号)
- この通達は、令和2年4月1日から実施する。 実施日(令和3年3月30日務第670号)
- 1 この通達は、令和3年4月1日から実施する。
- 2 この通達の実施の際、この通達による改正前の様式による用紙で、現に残存するものは、 なお使用することができる。

電 話 用 紙

発	信	者		発信 取 扱 者
受	信	者		受信取扱者
			前	
	年	月	日 午	時 分 発 受
			後	
件名				
			-	
処 理				
結果				

作成者 埼玉県 警察署

司法

電 話

願 届 録 取 書

口頭

受理年月日時分	年	月	日	取扱者	埼玉県	警察署	
文	午前・午後	時	分	4X1/X13	司法		P
願届人の							
住所職業							
氏名年齢				電話			
件名							
処 理							
結果							

1312	(21 2 2												
					被	1	害	上	申	書			
											/- -		
	.+			***	- m =						年	月	日
	埼玉県				署長	殿							
				上申者	首 住	居							
					氏	名					P		
							(1	電話)	
							わかり	りました	=				
次	のとおり	נו			被될	≣が		から	お届	けします。			
		-					あり	ました					
被	害者	0	住	居									
職	業、氏	;名、	年	龄									
						年		日	午	 時	分ころ	から	
被	害の	年月	日	時		· 年		日	· 午	時		。 までの間	l
>d-	—		18			<u>'</u>	,,				<i>7</i> , C <i>D</i> .	50 001-	<u> </u>
被	害	<u>の</u>	場	所									
>#	=	_	+##	1**									
被	害	の	模	樣									
被	品		名		数	量	時	価		特	徴	所 1	有 者
害													
金													
品													
ו חג	の仕足	ш.	/						1				
	の住居、												
	通称、												
	大、特												
	考 事												
(遣	留品	そ(の										
他	参考と	: な											
る~	べき事	項)										
被害	届をした	なか	2										
たった	理		由										
,,,	土		4										
												, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
									届出	出受理者	係	氏:	名

- (注意) 1 被害を知っていて届のなかったときは、「わかりました」を、警察官から言われて被害を知った時は「ありました」を で囲むこと。
 - 2 上申者と被害者とが異なるときは、上申者と被害者との関係及び本人届出の理由を参考事項欄に記入すること。
 - 3 上申者の依頼によって警察官が代書したときは、末尾空欄に「以上本人の依頼により代書した。 所属、官職氏名」を記載し、押印すること。

様式第4号

		被	害	品	確	認	書			
								年	月	日
	## m									
埼玉県	警察署長	殿								
確認者	住居									
*####	L/A									
	職業			氏名					P	
								(歳)	
				_						
				(電話)	
次のとおり、		の被害	₹品で7	あるこ	とを紹	宇認しき	ます。			
被害日時、	被害日時									
場所及び	被害場所									
被害者の										
氏名	被害者									
確認物件										
同種の物										
と区別で										
きる特徴										
等 ————————————————————————————————————										
備考										

⁽注意) 1 確認者と被害者が異なるときは、確認者と被害者との開係及び本人確認の理由を、備考欄に記入すること

入すること。 2 確認者の依頼によって警察官が代書したときは、末尾空欄に「以上本人の依頼により代書した。 所属、官職、氏名」を記載し、押印すること。

					質	受										
								_	L	申						
					買	耳	Z .									
						,	•					年	Ē	月	日	
埼玉県	Į		警察署	롤長殿												
						住	所									
						職	業 一	_							(F)	
							氏	名					(即	
							雷	話					(歳)	
当店で	で取引し	した品	物が.				坦	, ALI		事件	の被詞	害品と	:のこ	とで	、そ(の取
引状況等				こおり	申し	上げ	ます			J-11	1/4	<u> пн</u> С			, , ,	1/1
取引																
(住所																
									7 (ب عد	/ /	4.	n+			
取引	年 月	日(#	寺)		年		月		1 (十則	・午行	爱	時	力	ころ)
取	引	場	所													
		.1.15	\ <u></u>													
取	引	状	況													
		<u> </u>								4/11				<u></u>		
		取		4 7 (物	米 h			牛 	安百	(M)
	品			名(特	徴)				数	量	取	引	額	<u>(円)</u> 円
																<u> </u>
																円
													+			<u> </u>
													1			
身元	確	認 方	法													
取引	物件	の措	置													
取引	- 4	سا ا	Φ.													
以 51		入 C 程														
н п	w 07	111	<i>1.</i> ×													
											1 - 7 1					-+

⁽注意) 1 事例に応じ該当文字を で囲むこと。取引時間が判明する場合は、取引年月日欄に時間を記入 すること。

² 上申者の依頼によって警察官が代書したときは、末尾空欄に「以上本人の依頼により代書した。 所属、官職、氏名」を記載し、押印すること。

	_										
		在 籍	等照	会系	吉果	報台	告 書	<u>t</u>			
	☑県 □警察員 警			殿 埼玉県		警察		丰	月	日	
本籍 生地 住所	!			司法							
氏名	í			年	月	日生(歳)			
		在	リ回答がる 籍 は次の	あった <i>の</i> 記	で報告		IC'	電話照	R会し <i>†</i>	ご結果	、係
本籍 生地 住所 氏名	g T			年	月	日生(歳)			
	家		族			関			係		
続柄	氏	名		生	年	月	日		備		考
			明・大・昭	・平・令	年	月	日				
			明・大・昭	・平・令	年	月	日				
			明・大・昭	・平・令	年	月	日				
			明・大・昭	 ・平・令	年	月	日				
			明・大・昭	・平・令	年	月	日				

[|] _____| (注意) 1 事例に応じ該当文字を で囲むこと。 2 印のある欄については、該当の 印の中にレを付けること。

惊지.	弗 / 亏															
		犯	罪	経	歴	照	会	結	果	報	告	書				
	奇玉県		琴 署長									年	J	₹	日	
Ē	司法警察員 警視	児			殿											
				埼	玉県			警察	署							
					司	法										
生 住 耶	b籍 生地 主所 戦業															
E	氏名							年	月	F	3生(歳)		
	体日、上記の者(る、同課(係員)									管理説 ⋮する。		話照	会し	<i>っ</i> たと
	犯罪経歴の	登録を	ìし。													
	上記の者	の犭	D罪紹	を歴は	t次の	とお	りです	ある。								
	類 似 者															
	ト籍 生地															
	里名															
E	氏名							年	月	[3生(歳)		
							犯歴	番号] - [
	犯				罪				 経					 陸		
区分	検				学					処	分	•	裁	判		
番号	年 月 日	警	察	署	罪	名(=	£	年	月	H	機		関			内容
1	昭和・平成・令和								平成・令					懲役	年	月
	年 月 日							年	月	日				1111		円
2	昭和・平成・令和								平成・令 -	-				懲役	年	月
	年 月 日							年	月	日				1112		円
3	昭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								平成・令	-				懲役	年	月
	年 月 日							#	月	H				割金	<u></u>	円
4	昭和·平成·令和 年 月 日								平成・令 三 月					懲役	年	月
参老	<u> ⁺ </u>	2、后	通報	、暴	 力団を	学録 争	<u></u>	"	. 13	ц				<u></u>		円
	· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-, , ,		3			- /									

⁽注意) 1 印のある欄については、該当の 印の中にレを付けること。 2 犯罪経歴の年月日欄は、該当する元号を で囲むこと。 3 犯罪経歴が5件以上ある場合は、続用紙を使用すること。

	犯		罪	—————————————————————————————————————	į	焚		
区分	検		 挙	処	分・裁	判		
番号	年 月 日	警察署	罪 名(手	年 月 日	機関			内容
	昭和・平成・令和			昭和・平成・令和		懲役	年	月
	年 月 日			年 月 日		諡		円
	昭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			昭和・平成・令和		懲役	年	月
	年 月 日			年 月 日		1112		円
	昭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			昭和・平成・令和		懲役	年	月
	年 月 日			年月日		割金		<u>円</u> 月
	昭和·平成·令和 年 月 日			日本 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				
						割金		<u>円</u> 月
	昭和·平成·令和 年 月 日			日本 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		記金		円
	昭和・平成・令和			昭和・平成・今和		懲役		月
	年月日			年 月 日		濫金		円
	昭和・平成・今和			昭和・平成・今和		懲役		月
	年 月 日			年 月 日		記金		円
	昭和・平成・令和			昭和・平成・令和		懲役	年	月
	年 月 日			年 月 日		좚		円
	昭和・平成・令和			昭和・平成・令和		懲役	年	月
	年 月 日			年 月 日		좚		円
	昭和・平成・令和			昭和・平成・令和		懲役	年	月
	年 月 日			年 月 日		1111		円
	昭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			昭和・平成・令和		懲役	年	月
	年 月 日			年 月 日		鑑		円 月
	昭和·平成·令和 年 月 日			日本 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				
							年	
	昭和·平成·令和 年月日			日本 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			•	, ,
	昭和・平成・今和			昭和・平成・令和		懲役		
	年月日			年 月 日		좗		円
	昭和・平成・令和			昭和・平成・令和		懲役	年	月
	年 月 日			年 月 日		諡		円
	昭和・平成・令和			昭和・平成・令和		懲役	年	月
	年 月 日			年 月 日		11金		円
	昭和・平成・令和			昭和・平成・令和		懲役	年	月
	年 月 日			年 月 日		1112		円
	昭和・平成・令和			昭和・平成・令和		懲役	年	月
	年 月 日			年 月 日		割金		円
	昭和・平成・令和			昭和・平成・令和		懲役		
	年 月 日			年 月 日		諡		円

遺留品発見報告書	
 	日
司法警察員 警視 殿	
埼玉県 警察署 司法	(P)
次のとおり被疑者が遺留したと認められる物を発見したので報告	告する。
事件名	被疑事件
発見年月日時 年 月 日午前・午後 時 分ころ	
発 見 物 件 領置調書(乙)のとおり	
発見の経緯及び状況	
発見現場付近見取図	方 位

					遺	留	品	発	見	届				
坮	寄玉県		4	警察署長	殿 発見者	首住居						年	月	日
					職業 氏名									(P)
z	 てのと	おり	被疑 犯	発者 罪 に		遺留し が あ		と思れ	つれる	物を乳	き見した	のでお届け	ナしま	₹す。
事	f	4	名										被	疑事件
発	見年	月日	時			年	月	日午	前・生	F後	時	分ころ		
発	見	物	件	任意	提出書	のとま	ŝ I)							
発	見	場	所											
発見	の経緯	緯及び	伏況											
発見	現場	付近見I	双図										7	方 位
													Z	
													Ž	

- (注意) 1 発見者の依頼によって警察官が代書したときは、末尾空欄に「以上本人の依頼により代書した。 所属、官職氏名」を記載し、押印すること。
 - 2 本届書を発見者本人が作成した場合は、取扱者欄に取扱者が押印すること。

年 月 日

埼玉県 警察署長

司法警察員 警視 殿

埼玉県 警察署

司法

写真撮影報告書

年 月 日

において発生した、被疑者 に対する

被疑事件につき、下記のとおり写真撮影したので、写真 葉を添付して 報告する。

記

1 撮影年月日時

年 月 日午 時 分から 年 月 日午 時 分までの間

- 2 撮影場所
- 3 撮影者
- 4 立会人

住所

職業

氏名

年齢 (歳)

- 5 撮影物件等
- 6 その他

埼玉県 警察署

司法

場見取図作成報告書 現

本職は

被害の窃盗被疑事件について 年 月 日、

立会のもとに現場見分を行い、その指示説明に基づきこの見取図を作成

した。

の説明に基づき、この見取図を作成した。

	現	場	見	取	図		
被害場所						方	位
	並出すっ に						

(注意) 1 該当する に✔印を記入すること。 2 説明に基づく作成は、届出人(被害者)が、やむを得ない理由により、被害現場の立 会見分を望まない場合に行うこと。

請書

本籍

住所

職業 氏名 (歳)

上記の者、本日貴署において

被疑事件につきお取調べ

中のところ、私にただいま本人を引き渡していただきました。今後は、私の責任で本人が 再度刑罰法令に触れるようなあやまちを犯さないよう監督します。また、呼出のときは、 私が責任をもってご指定の日時に、ご指定の場所へ本人を出頭させることを約束し請書を 提出します。

年 月 日

引受人

住 所

職業上記本人との関係

氏名

電話

埼玉県 警察署長殿

樣式第13号

					出				火				届						
埼	·玉県			警察	署長	殿											年	月	日
							人出	住	居										
									職業 氏名								A		
															(歳		
次	のとお	り出	火し	たので	お届け	ナしま	ます。		(電	話)	
建 (住	物 <i>0</i> ∶所、職ӭ			有 者 年齢)															
建 (住	物 (i i所、職詞			里 者 年齢)															
出	火生	F .	月日	時			年	•	月	E	午		時	į	分	3)		
Н	出 火		場	所															
				焼	失	物	件	並	び	に	損	害	見	積					
損	建			物															
害	家	財	道	具															
の 程	A	1 /1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·															
度	そ		の	他															
	出火	の	原	因															
少			保	険															
加																			
居 及		者 そ	氏 の																
参			事	項															

- (注意) 1 届出人と建物の管理者が異なるときは、届出人と建物の管理者との関係及び本人届出の理由を 参考事項欄に記入すること。
 - 2 届出人の依頼によって警察官が代書したときは、末尾空欄に「以上本人の依頼により代書した。 所属、官職、氏名」を記載し、押印すること。

様式第14号

	ר דו נוכע																	
						類		烘	ŧ		届							
	· :			#4 🕁												年	月	日
埼	玉県			警祭	署長	殿 届出	人	住居										
								職										
								氏名	3					(⑪ 歳)		
ب ار	このとお	11 米百	水卉 之也?	まがち	-> t= (n ボキ	› 문 t		電話 ★)		
				i 者		// C 0.) 	702	<i>,</i>									
	住所、耶																	
`		龄)																
建		-		1 者														
(住所、耶		氏名	i、年														
		龄)																
類		F F		時			年	月		午		時		分こ	3			
類	焼 建华	物の	所	在 地														
				焼	失	物	件	並て	ド に	損	害	見	積					
損	建					物	件	並て	ド に	損	害	見	積					
	建			物	失	物	件	並て	ў [こ	損	害	見	積					
害			*	物	失	物	件	並て	ў С		害	見	積					
害の	建家	財	道	物	失	物	件	並て	ў [<u>Т</u>		害	見	積					
害		財	道	物	失	物	件	並 て	ו א	. 損	害	見	積					
害の			道 の	物	失	物	件	並 て) -	. 損	害	見	積					
害の程	家			物具	失	物	件	並て	ў	. 損	害	見	積					
害の程度	家	(ን	物具	失	物	件	並て	ў	. 損	害	見	積					
害の程度	家そり火	о О	か 原	物具他因	失	物	件	並て	ў [ट	. 損	害	見	積					
害の程度	家とという。	о О	の原保有	物具他因険無	失	物	件	並て	ў [. 損	害	見	積					
害の程度と別に対して	家・そ・火・災・	のの者	の原保有氏	物 具 他 因 険無名	失	物	件	並て	ў [С	. 損	害	見	積					
害の程度と外加居及	家そり、人住び	のの者そ	の原保有氏の	物 具 他 因 険無 名他	失	物	件	並て	ў [С	. 損	害	見	積					
害の程度と別に対して	家そり、人住び	のの者	の原保有氏の	物 具 他 因 険無名	失	物	件	並て	ў [С	. 損	害	見	積					
害の程度と外加居及	家そり、人住び	のの者そ	の原保有氏の	物 具 他 因 険無 名他	失	物	件	並て	ў <u></u>	. 損	害	見	.					

- (注意) 1 届出人と建物の管理者が異なるときは、届出人と建物の管理者との関係及び本人届出の理由を 参考事項欄に記入すること。
 - 2 届出人の依頼によって警察官が代書したときは、末尾空欄に「以上本人の依頼により代書した。 所属、官職、氏名」を記載し、押印すること。

18702107									/			
ᄷᅮᆸ	夢觉黑巨								年	月	H	
	警察署長			₽Λ								
司法警察員 警視	•			殿								
			揖	奇玉県	Į	警察	署					
			Ē	司法							(FI)	
	所 持	金	品	確	認	報	告	書				
被疑者		に係							事件			
につき、本職は、	下記のとる	おり被	疑者の所		記品を確	認した	こので	報告す	「る。			
				<u>記</u>								
確認年月日		年	月	日	午	時	<u>分</u>	ころ				
確認場所												
	所	持	金		品	目		録				
現金合計		円										
内訳												
 物	品		数	星	物				品		数	量

所	持	金	品	目	録	

樣式第16号 号 第 年 月 日 警察署長 司法警察員 警視 殿 埼玉県 警察署長 司法警察員 警視 捜査嘱託に対する回答について 別紙書類のとおりであるから捜査嘱託書を添えて回答する。

埼玉県

令 状 請 求 連 絡 票

作成者	埼玉県	警察署 階級	氏名
	警察署加入電話	() 0110・警察電話番号

(印)

受信取扱者名 担当裁判官名 連絡日時 日 午前・午後 年 月 時 分 到着予定日時 年 月 日 午前・午後 時 分ころ 逮捕状(乙) 搜索差押許可状 身体検査令状 令状の種類 鑑定処分許可状 その他(追 氏名・年 齢・逮捕日時 住居の状況 氏名 不 定 歳) (年 月 日午前・午後 時 分 不 詳 被疑者名簿 氏名 不 定 2 (歳) 年 月 日午前・午後 時 分 不 詳 氏名 不 定 3 歳) (年 月 詳 日午前・午後 時 分 不 窃盗 強盗 横領 詐欺 恐喝 殺人 覚醒剤 (使用・その他) 傷害 罪 名 業過致死・傷 未遂 暴処法 道交法 弁 録 内 容 否認 一部否認 認めている 要早急処理 理 由 裁判官指示 (請求先裁判所 裁判所 受 理 日 時 年 月 日午前・午後 時 分 発 付 日 時 年 月 日午前・午後 時 分

印のある欄は、該当の 印の中にレを付けること。 (注意) 連絡先 さいたま地方裁判所 警察電話5811又は加入電話048(863)4111 熊谷支部 加入電話048 (521) 4821

非行・補導歴調査結果報告書

年 月 日

埼玉県警察署長

司法警察員 警視 殿

埼玉県 警察署

司法

本 籍 住 居

職業(学校名)

氏 名

年 月 日生(歳)

上記被疑少年の非行・補導歴について調査した結果は、下記のとおりであるから報告する。 記

非行・補導歴該当なし。

前記少年の非行・補導歴は、次のとおりである。

番号	年月	1 日	非行(補導)行為名	行為内容	扱い警察署	措置及び処分結果
	•	•				
	•	•				
	•	•				
	•	•				
	•	•				
	•	•				
	•	•				
	•	•				
	•	•				
	•	•				
備考						

(注意) 印のある欄については、該当の 印の中にレを付けること。

様式第19	9号											
			毒物	及び劇	物取	締法遺	■反幸	日告	<u> </u>			
	警	察署				,			_	年	月	日
司法警		警視			殿		<u> </u>	察				
次のと	おり	事物及び 劇	劉物取締 済	去違反被疑	を 者を	司法 発見(認	知)	したの	つで報告	する。		P
							被		疑		者	
端緒												
 発 見						本籍						
(認知						住居						
) 日 時							(1	電話	-	-)
П нд						職業						
場所						学年 (ふりがか	-> \			学校	学	年在学
						氏名	≯)					
種類								年	月	日生	(歳)
数量							/ 5		1.11			
							保		護			
入手先						住居	(5	電話		_)
乱用歴						職業	(=	老四	- 被疑者	- との続标)
(回数						氏名						
)						年齢						
状 況												
	—											

備考

様式第20号									
	-	ルエ	ン予	備言	式 験 絽	果報告	書		
警 司法警察員		長	J	段			年	月日	3
みだしのこ	ことについ	ては、次の	のとおり ⁻	であるカ	司法 から報告す	警察署 - る		(Đ
被疑者	本 籍 住 居 職 業 学 年 (ふりがな)			学	校	学年在学			
	年 齢			年	月	日生 (歳)		
実施日時		年		日午 日午	時 時	分から 分までの間	3		
実施場所									
実 施 者		警察 司法							
立会人									
検 体									
予 備 試	験の糸	経過	及びす	昔 置					
1 トルエン 下記のとお			プに接続	し、検値	本の気化し	ている部分を	を吸収通過	させたとる	ころ、
番号		で。 /検知管の	変色の状	況	判	定	押収品	 目録番号	

係に引継いだ。 2 予備試験済みの検知管は、当署

証拠物件鑑定承諾書

年 月 日

警察署長

警視

殿

私は

事件について取調べを受けまし

たが、押収された証拠物件については、鑑定上必要と認められるの分をされることについて異議はありません。

住居

氏名

 \bigcirc

覚醒剤予試験実施結果報告書											
埼玉県 行司法警察員 警	警察署長	:			年	月	日				
可体言杂食 曾	『 1元	ЖΣ	埼玉県 司法	警察署		印					
覚醒剤取締 る。	法違反被	3疑事件に関する ³	予試験実施結果	は、下記のと	∠おりて	ごあるか	から報告す				
			記								
	住居										
44 K7 +v	職業										
被疑者	氏名										
	年齢										
実 施 日 時											
実施場所											
実 施 者											
立会人											
検体											
予試験方法											
予試験結果 及び措置											
備考											

大麻予試験実施結果報告書											
埼玉県 司法警察員 警視											
	埼玉県 警察署										
	司法										
大麻取締法違反 る。	を 被疑事件に関する予試験実施結果は、下記のとおりであるから報告す										
	記 										
被疑者											
実 施 日 時											
実施場所											
立 会 人											
検体											
予試験方法											
予試験結果											
備考											

1312 4212 - 3											
コカイン予試験実施結果報告書											
H-T-15	***			年	月	日					
埼玉県 司法警察員 警視	警察署長	殿	埼玉県	警察署							
		司法			印						
麻薬及び向精神 から報告する。	薬取締法違反被	疑事件に関する ⁻	予試験実施結	果は、下記の	のとおり	りである					
がら報言する。		記									
被疑者											
実 施 日 時											
実施場所											
立会人											
検体											
予試験方法											
予 試 験 結 果											
備考											

		採	尿	報	告	書			
							年	月	日
埼玉県 司法警察員			殿		1+	- 18	## FED TO		
					词:	玉県 法	警察署		Ер
覚醒剤取締 報告する。	法違反被疑事件に	こつき、	、被疑	経者から記	ら採尿	した状	代況は下記の	とおり	であるから
被疑者									
採尿日時									
採尿場所									
採尿者及 び立会人									
採尿するに 至った経過									
採尿時の 状 況									
採尿量									
措置									

13/12/07							
	尿「	中覚醒剤	予試験実施	結果報告書			
					年	月	日
埼玉県	警察署長						
司法警察員 警	聲視		殿				
			埼玉県	警察署			
			司法			ED	
尿中覚醒剤 ⁻	予試験を実施し	ノた結果は 、	下記のとおり	であるから報告	する。		
			記				
被疑者							
実施日時							
关 心 口 时							
実 施 場 所							
立会人							
検体							
覚 醒 剤 検査キット	予試験方法						
(アキュサイン)	結果						
M D M A 検査キット	予試験方法						
(シュアステップ゜)	結果						

覚 醒 剤 検査キット (アイベックス)	予試験方法	
(アイへ゛ックス)	結果	
総合判定		
備考		

(参考)尿中覚醒剤予試験実施要領(平成31年薬銃対第265号)別表

予試験結果による総合判定

覚醒剤 検査キットA (アキュサイン)	M D M A 検査キット (シュアステップ)	覚醒剤 検査キット B (アイベックス)	予試験判定
+	-	+	覚醒剤を含有する。
+	-	-	微量の覚醒剤を含有する。
+	+	-	M D M A を含有するか、又は微量の 覚醒剤及びM D M A を含有する。
+	+	+	覚醒剤及びMDMAを含有するか、 又は高濃度の覚醒剤を含有する。
-	+	-	MDMAを含有する。
-	-	-	覚醒剤及びMDMAを含有しない。

⁽注) 「+」は陽性、「-」は陰性を表す。

125	.10351												(र	その1)
					実	況	見	分	調	書				
											_	_		_
									埼玉	ı	年	月 警察署	핕	日
									司法	-		言尔名	i	$^{\textcircled{\tiny 1}}$
初	按疑者				ات!	対する	業務」	過失			被疑	事件につき	<u> </u>	
本聯	は次の	とおり	り実況	記見分を	した。									
1	実況見		日時										天候	
		年	月	日午		時	分から	5午	時		分まで		八K	
2	実況見	分の5	易所、	身体又	は物									
3	実況見	.分の	目的											
	現場及	び事	故発生	の状況	を明か	にして	、過失	の有類	無を認	定し	、あわ [.]	せて証拠を	₹保全 [*]	するため
4	実況見	.分の <u>3</u>	立会人											
	住	居												
	職	業												
	氏名・	年齢										((歳)
5	実況見	分の約	经過											

- (1) 現場の位置 別紙図面のとおり
- (2) 現場の模様 一 船 的 米 況

_	般	的	状	況								
市	街	市街地	,	非可	市街地				作動中	(三色信	号、赤黄	
		前方	良不良	約	メートル	信	号	機	休止中 なし			
見と	おし	右方	良不良	約	メートル	交	通	量	車両	多(1)	普通	少ない
			良						人 施設	<u>多い</u> あり	普通	<u>少ない</u> なし
		左方	不良	約	メートル	照		明	夜間	明るい	やや明る	
道	路	}	 状	況					I			
歩 車	道	区分あ	וי	区分	分なし	5		_	平坦、	凹凸、	破損、	工事中
^+	1 +	アスフ	ファルト、コンクリ		フリート	路		面	乾燥、	湿潤、	凍結、	積雪
舗	装	その他	. ()				速度規制	l(km/h	1)、駐車禁」	上、一方通行
		百線	曲り角、	カ ー -	ブ()	交i	通規	制		ための右側	削部分はみだ	し禁止、一時停
路	線	交差点		,, ,)	- 4	, ,		止			
									その他()、なし
側	溝	有蓋	無蓋	蓋	なし	横	断	步	横断步	道	方	メートル
勾	配	上り	下)	なし	道		等	歩 道	橋	方	メートル
そ	の	他	の	状	況							

(3)	被疑車両お	よび被疑者の状況
101		O O 12 XF H V/1/////

被疑車両の	状 況				
用	自動車	음	操行装置	異常	なし
713	日劉半	5	採 1」衣 且	共币	あり
乗車積載の状況			制動装置	異常	なし
ハンドルの位置	左	右	削 勤 衣 且	共币	あり

破損の状況

被 疑 者 の 負 傷 状 況

(4) 被 車両及び被 者の状況

被車両の	の状況				
用	自動車		号	操行装置	あり 異常 かし
H	日劉宇		5	採 1」衣 且	^{共市} なし
乗車積載の状況				制動装置	あり 異常 かし
ハンドルの位置	左	右		削 勤 衣 且	^{共市} なし
7449 0 14220	•	•		•	

|破損の状況

者の負傷状況 被

(5) 事故発生時の状況

(6) 証拠物

(7) 実況見分補助者

以上を総合して衝突地点(⊗)を決定し,衝突地点(⊗)にいたるまでの関係地点の

位置を確定して、この実況見分の補助者

をして

立体写真(組)平面写真 枚を撮影させ(た)、その写真に基づき、県警察本部

交通部交通捜査課

をして別添のとおり図化せしめた。

				交通	事故事	件(事問	放不申台	告)搜	查報告書		
									年	月	日
	E県			警察署	長						
司法	去警察	察員	警	養視		殿					
							·玉県		警察署		
- -	ر م <u>بد</u> ۲	ᆂᆂ	. h. =	5 /4	ナ	_	法のよわ	12 -= +	ュムト却仕士っ		Ħ
<u> </u>		思事点 告日6		∮件の甲音 			<u> 次のとお</u> 3午	<u>リでめ</u> 時	るから報告する 分ころ		察署に
	場		斩	おいて言		7 -	1 T	₽ ij	カこっ が受理		宗省に
	- 70		/1	住所	1/4				7,7 2,2	_	
				氏名							
	申	告	者		加宝老	地宝字	日垂耂	(側)、その他	(
申		Г		種別	川古有、	被害者、	四米有		1917、その他		
4		発	生	日時		年	月	日午	時	5.	うころ
告	事	発	生	- 場所							先路上
	故	当		第 1	住所						
の	概要	当事者の		当事者	氏名						
777	کے	の 住		第 2	住所						
受	そ	住所氏名等		当事者	氏名						
	の	比名		第 3	住所						
理	認	等		当事者	氏名						
.1.15	識	事	お	双態 様							
状	状				物損						
	況	被	害	子状 況							
況					人身						
	申	告 i	屋;	延理由							
	Ħ	9 告	の	動 機							
	Med .	<u> </u>	_	- 					. ~	-	
	の有	無に	つし	か申告 ハての 吉 果	管轄 (交番)、『	隣接 (へらの申告の事 交番		通係員、)
	 措										
	備			 考							
	I/#I			<i>~</i> 5							

(注意) この書式は、特例・簡約特例書式適用事件において使用すること。

飲酒検知器による酒気帯び程度の検査結果報告書

年 月 日

(印)

埼玉県 警察署 長

司法警察員 警 視 殿

埼玉県警察署

司法

下記被疑事件について、被疑者の酒気帯びの程度を検査した結果は、下記のとおりであるから報告する。

記

1 事件名

業務上過失傷害及び道路交通法違反 道路交通法違反

2 被疑者の氏名、生年月日等

氏 名

年 月 日生(歳)

3 検査日時

年 月 日 午 時 分ころ

- 4 検査場所
- 5 使用機器

ポンプ式飲酒検知器 記録式飲酒検知器

6 検査方法及び結果

風船に採取した被疑者の呼気のうち、

10000を検知管の中を通過させ

20000を非分散型赤外線分析法により

測定したところ、被疑者の身体に保有するアルコール濃度は、呼気 1 リットルにつき ミリグラムと認定される。

7 その他

被疑者に対する質問応答状況等は、別添「鑑識カード」のとおり。

(注意) 1 印のある欄については、該当の 印の中にレを付けること。

2 鑑識カードは更紙に貼付した上、作成者が押印し本書に契印すること。

交通前歴照会結果報告書

年 月 日

埼玉県

司法警察員

殿

埼玉県 司法

(1)

下記被疑者の交通前歴について、

長

埼玉県警察本部交通部運転免許本部運転管理課 埼玉県警察本部総務部情報管理課照会センター に照会したところ、下記のとおりであるから報告する。

記

1 被疑者

本 籍

住 居

職 業

氏名等

(男女)

年 月 日生(歳)

2 照会結果

		違	反	(事	故)	の	前	歴			
番号	種別	違反	年月	日			違	反	名		検挙署・ 隊	違反	車種
1		年	月		日								
2		年	月		日								
3		年	月		日								
4		年	月		日								
5		年	月		日								
		行	Ī	攺	処	:	分	前		歴			
番号	処分	分公安委員	会				処分	}年 月	目		処分	内容	
1								年	月	田		()
2								年	月	田		()
3								年	月	日		()
		回答	等取扱	者			運転	管理	課	照	会センター		

- (注意) 1 運転免許を受けていない者については、運転管理課に照会すること。
 - 2 印のある欄については、該当の 印の中にレを付けること。
 - 3 種別欄は、違反、事故の別を記載すること。
 - 4 違反(事故)の前歴が6件以上又は行政処分前歴が4件以上ある場合は、継続用紙を使用する こと。

			違	反 (事品	久)	の	前	歴				
番号	種別	違	反月日			違原	反名			検挙署	・隊	違反	車種
6		年	月	日									
7		年	月	日									
8		年	月	日									
9		年	月	日									
10		年	月	日									
11		年	月	日									
12		年	月	日									
13		年	月	日									
14		年	月	日									
15		年	月	日									
			行	政	処	分	前		歴				
番号	処分公:	安委員会		処分:	年月日				処	分	内	容	
4				年	月	日						()
5				年	月	日						()
6				年	月	日						()
7				年	月	日						()
8				年	月	日						()

图 自 動 車 運 転 免 許 証

(新規・更新・再交付)

氏名 生年月日 大昭 平 月 日 平 本 籍 国 籍 住 所 免許証番号第一号公安委員会 交付年月日日 年月日日 有 効 期限 年の誕生日まで有効 免許の条件等 9 第一種 第二種免許 中月日日 種 類 備考 算別のよう 中月日 中月日 中月日 日日 年月日 日日 日本											(小川へ元	又小	一大人	J /	
住 所 免許証番号第 号 公安委員会 交付年月日 有効期限 年の誕生日まで有効 免許の条件等 年月日 第一種 免許 他 年月日 年月日 第二種免許年月日 年月日	Ħ	į :	名						生年	月日	昭		年	月	日
免許証番号 第 交付 年月日 有効期限 年の誕生日まで有効 免許の条件等 年月日 免許の条件等 年月日 免許の条件等 年月日 第一種 免許 他 年月日 年月日 第二種免許 年月日 年月日	Z	Ż	籍	国	籍										
交 付 年月日 有 効 期 限 年の誕生日まで有効 免 許 の 条 件 等 年月日 免 許 他 年月日 日 第二種免許 年月日 種 類 年月日	仨	È			所										
有 効 期 限 年の誕生日まで有効 免 許 の 条 件 等 第一種 免 許 他 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 日 日 日		免言	许 証	番	号	第					号		公安	委員会	슾
免許の条件等 免許 第一種 免許 他 年 月 日 第二種免許 年 月 日 種 類	3	ই			付			年		月	日				
第一種	丰	Ī	効	期	限			年	の誕生	生日ま	で有効				
発許 他 年月日 第二種免許 年月日	免	許	の	条件	等										
種類	免	第一	-種	= •	小・原			年		月	日				
種類	許年	免	許		他			年		月	日				
	月	第二	種免詞	午				年		月	日				
備 考	利	重			類										
	佅	i	考									•			
							-			•					

		年 月 日
作成者	埼玉県	警察署
	司法	(

被疑者	
罪 名	

仮	谖	付	証	拠	品	提	ж	書
ルス	223	13	ш	J/C=	шш	JVE	ш	

年	月	\Box

埼玉県警察署長司法警察員警視殿

住居

職業 (電話) 氏名 ^印

(歳)

年 月 日 から仮還付を受けた下記物件を提出します。用済みの上は、処分意見欄記載のとおり処分して下さい。

		提	出		物				件				
番号	品		名	数量	提	出	者	処	分	意	見	備	考
1													

取扱者印

注1 本提出書作成の際、領置調書の作成は不要である。

² 還付不要の物件には、提出者処分意見欄に必ず「所有権を放棄する。」旨明記させ、所有権放棄書を作成させること。

水 工() 5	10 0 0	<u> </u>		Ė	T	正												
				-	J		视	女		Ē	Ę	届						
ſ				辿	皀	加		~			_	,		/-	_		П	
	埼	玉県				署長 、 住 氏			(🖥	電話				年	月		日)	
ž	次の。	とおり	j			被害の				正 があ 加	ָנו ,	ましたからお	届	ナしま	∃す。			
被	害	者	の	住	居													
職	業、	氏	名	、年	龄													
被	害 σ.	届	出年	月日	等		Í	Ŧ	F		日	(受理番号	第	Ī	두	;)		
被	害	の	訂	正	又													
は	追	加	の	理	由													
(被 日時	皮害者 5、 补	首関係	〔 〔 〕場所	E 事 対害の年 f、被害 う	月													
追		品		名		数	量	時			価	特		徴		所	有	者
加																		
被																		
害																		
金品																		
	考	事	項															
												届出受理者	俉	系		跃	3	

⁽注意) 1 本届出は、被害届の提出後、被害場所等の訂正があった場合又は被害金品の追加があった場合に作成する。 2 訂正の場合は「訂正」を、追加の場合は「追加」を で囲むこと。 3 被害金品を追加する場合のみ追加被害金品欄に記載し、それ以外の場合は被害の訂正事項欄に記載すること。 4 届出人と被害者が異なるときは、届出人と被害者との関係及び本人届出の理由を参考事項欄に記載すること。 5 届出人の依頼によって警察官が代書したときは、 印欄に「以上本人の依頼により代書した。所属、官職氏名」を記載し、押印すること。

口腔内細胞に係る	る任意提出・DNA型鑑定承認	苦・所有権放棄書
		年 月 日
埼玉県 警察署長	殿	
	住居	
	職業	
	(電話 — 氏名	—)
	八名	印
		(/////////////////////////////////////
1 私の口腔内細胞のDI	NA型鑑定を実施してその結界	果を犯罪の捜査に利用す
ることについて説明を	受け,よく分かりましたので,	私の口腔内細胞若干
() を
任意に提出します。		
2 前記物件について鑑定	定上必要と認められる処分をさ	されることを承諾します。
3 前記物件について所有	有権を放棄します。	

赤刷

り